

広報  
の

# まつざき

2011  
(平成23年)

12

No.571



秋まつり (伊那下神社三番叟)

# 松崎町功勞者表彰

11月21日(月)、松崎町功勞者表彰式が、環境センター文化ホールで行われました。

この表彰は、松崎町表彰条例に基づき、町の自治、福祉など各般にわたって、町の発展に寄与された方の功績をたたえるものです。

受章された方々は、次のとおりです。

## 功勞表彰

中村 中村 一夫さん  
(現 消防団団長)

多年にわたり、消防団幹部として、防災活動の指揮等に献身し、町民の安全確保、民生の安定に貢献。

## 有功表彰

江奈 船津 今夫さん  
(現 選挙管理委員会委員長)

多年にわたり、選挙管理委員会委員長等として、選挙の公正を確保するため尽力し、民主政治の健全な発達に貢献。

山口 壬生 衛さん  
(元 交通指導員)

多年にわたり、交通指導員として、街頭指導ならびに交通安全思想の普及高揚に尽力し、町民の安全確保に貢献。



平成23年度 松崎町功勞者表彰受賞者

石部 高橋 弘之さん  
(元 固定資産評価審査委員)

多年にわたり、固定資産評価審査委員として、固定資産税課税評価の公平・公正を推進し、円滑な税務行政に貢献。

## 感謝状

指川 佐藤 星来さん  
小雪さん

8月にタイ・パタヤで開催された船越義珍杯第12回少年世界空手道選手権大会で姉妹そろって3位に入賞し、教育・文化の振興に貢献。



町長から感謝状を受けた佐藤姉妹

# 振興公社管理施設上半期実績

長引く景気の低迷に加え、3月に東北地方を襲った東日本大震災の影響から、平成23年度上半期、振興公社管理施設は入館施設、宿泊施設ともに昨年をさらに割り込む大変厳しい状況となりました。

しかしながら、入館施設においては、この状況も日が経つにつれ徐々に回復の兆しを見せており、今後一日も早く以前の状態に回復することが期待できます。

伊豆まつざき荘においても、静岡県自動車学校とのタイアップ

企画の展開や売店のリニューアル、インターネット予約の充実など利用者のニーズに合った細かな改善に取り組んでいます。今後は、これらの改善が実を結び、下期の利用客の増加に繋がるよう全力で努力していきます。

円高による景気の低迷等、明るい兆しはなかなか見えてきませんが、経営状況の改善に職員一丸となって取り組んでまいります。

企画観光課(42) 3964

## 平成23年度 上半期 施設利用状況

施設名		本年度(人)	前年度(人)	比較(人)	割合(%)
伊豆まつざき荘	宿泊	9,454	11,503	△ 2,049	82.2
	入浴	544	649	△ 105	83.8
	休憩	2,839	2,863	△ 24	99.2
	小計	12,837	15,015	△ 2,178	85.5
伊豆の長八美術館	入館	17,068	19,641	△ 2,573	86.9
重文岩科学学校	入館	10,426	13,240	△ 2,814	78.7
明治商家 中瀬邸	入館	9,768	9,897	△ 129	98.7
民芸館	入館	1,459	1,386	73	105.3
道の駅花の三聖苑	入館	12,660	15,729	△ 3,069	80.5
	入浴	15,161	16,615	△ 1,454	91.2

## 町の財政状況

# 平成23年度 一般会計 上期執行状況

平成23年度 4月1日から9月30日までの一般会計の執行状況をお知らせします。

### 歳入

予算額 40億1,620万円  
収入済額 21億1,665万1千円 収入率 (52.7%)

科目	予算額	収入済額	収入率
地方交付税	14億 712万6千円	10億7,552万1千円	76.4%
町 税	7億3,027万3千円	4億2,669万3千円	58.4%
国庫支出金	2億1,117万3千円	9,529万3千円	45.1%
町 債	2億 1,990万円	0円	0.0%
繰越金	1億円	1億3,108万1千円	131.1%
県 支 出 金	2億4,850万8千円	1,707万7千円	6.9%
諸 収 入	1億6,185万4千円	3,353万6千円	20.7%
使用料及び手数料	8,694万1千円	2,621万1千円	30.1%
そ の 他	7億7,708万2千円	4億6,592万2千円	59.9%
繰越明許費	7,334万3千円	4,637万3千円	63.2%

### 歳出

予算額 40億1,620万円  
支出済額 17億7,881万5千円 支出率 (44.3%)

科目	予算額	支出済額	支出率
民 生 費	7億9,977万4千円	3億5,729万円	44.7%
総 務 費	4億9,126万5千円	2億1,278万円	43.3%
衛 生 費	4億7,074万6千円	1億5,513万6千円	33.0%
公 債 費	3億9,251万3千円	1億9,384万7千円	49.4%
教 育 費	3億4,684万円	1億4,202万8千円	40.9%
農 林 水 産 業 費	2億3,175万5千円	5,704万5千円	24.6%
商 工 費	6億5,999万4千円	4億6,998万5千円	71.2%
土 木 費	1億9,885万1千円	2,840万1千円	14.3%
そ の 他	3億5,111万9千円	1億5,493万3千円	44.1%
繰越明許費	7,334万3千円	737万円	10.0%

### 用語の説明

#### 地方交付税

地方公共団体間の財政不均衡を是正し、必要な財源を保障するため、国から地方公共団体に対して交付される資金

#### 国庫支出金

国が用途を特定して地方公共団体に交付する資金の総称

#### 繰越明許費

町の歳出予算の経費のうち、その性質上または予算成立後の事由によって、年度内に支出を終わらせることができない支出について、あらかじめ議会の議決を経ておけば翌年に繰り越して使用することができる経費

#### 民生費

高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉などに支出される経費

#### 総務費

人事、企画、財政、交通安全など他部門に分類されない事業に要する経費

#### 公債費

地方債を償還するための経費

## 9月30日現在の基金(町の貯金)と地方債(町の借金)の状況

### ●町の貯金(財政調整基金など12基金)

15億9,697万6千円

町民1人当たり約20万3千円

### ●町の借金

33億687万5千円

町民1人当たり約42万1千円

※1人当たりの値は、9月30日現在の人口7,854人で計算しています。

【問合せ】総務課(42)3963



# 12月4日(日)は、「地域防災の日」です

## 3・11の教訓、防災活動の原点『自助・共助』に立ち返り総点検！ をスローガンに地域防災訓練が実施されます

静岡県では、12月の第1日曜日を「地域防災の日」と定め、防災訓練を行うこととしています。

今年、東海地震等により、県内各地で震度6弱以上の大規模な地震が発生、県内沿岸部に大きな津波が襲来することを想定した訓練が実施されます。

各自自主防災組織では、地域における具体的な被害(家屋倒壊・土砂災害・津波災害等)を想定した訓練が予定されています。

いざ地震が発生した場合、地域ぐるみで災害を最小限に抑えるため、自分がどのような行動をとったら良いのか、また、自主防災組織の一員として何をしたら良いのかを、訓練に参加して確認してください。

### 《訓練の重点項目》

①「地域で起こりうる被害を考え、自らの命を守る『自助』のためにとるべき行動を確認する」

・住宅の耐震性、家具の固定など家庭内空間の安全性の点検・確保  
・居住する地域で起こりうる被害の確認

・津波避難経路等の確認  
②「地域でできる『共助』を確認し、地震発生時の被害を軽減する」

・地域の防災力の確認と若年層の訓練参加  
・自主防災組織と消防団等の連携強化  
・ひとり暮らしの高齢者などの災害時要援護者に対する支援体制の確認  
・世帯台帳を活用した地域住民の安否確認の実施

聞こえていますか？同報無線

### 防災行政ラジオの 販売を行います。

町では、災害時等に住民の皆様が正確な情報を伝達する手段として、同報無線を使用しています。

しかし、暴風雨や夜間就寝時、戸締りをしている屋内では、町の放送が聞こえないという問題があります。

これらの問題を解消するため、町では、防災行政ラジオの整備を進めております。

防災行政ラジオは、町からの防災情報など同報無線から流れる放送を一般の家庭で受信できるものです。

整備する防災行政ラジオは、購入希望者に1,500円で販売します。

購入を希望される場合は、



防災行政ラジオ

年内に各地区にて、購入希望者の取りまとめを行っていただきますので、お申し込みください。お申込みいただいた方には、来年3月中旬頃から販売を開始する予定です。

【問合せ】  
総務課(42) 3963

### 地震への備え できていますか？

大規模な地震から自分や家族の命を守るためには、1日でもっとも長い時間を過ごす住宅について、地震に耐える対策が必要です。

静岡県では、東海地震の切迫性が叫ばれているため、昭和56年に建築基準法を改正し、他県に比べ厳しい基準を設けています。

しかしながら、それ以前に建てられた在来木造住宅については、地震による倒壊の危険性があるものがあります。

町では、電話1本で申込みができ、無料で専門家を派遣し、耐震診断を行っています。

また、耐震診断の結果、耐震性に問題がある場合、どこをどのように補強するかを検討する補強計画の策定や、その補強計画に基づいた耐震補強工事を行う場合には、補助制度があります。

住宅の耐震性に不安がある場合には、お気軽にご相談ください。

【問合せ】  
産業建設課(42) 3965

# 税の作品審査結果について

毎年11月11日から11月17日までの1週間は、「税を考える週間」です。その行事の一環として、伊豆下田納税貯蓄組合連合会では、今年も小学生・中学生を対象に「税に関する作品（ポスター、習字、作文）」を募集しました。

この事業は、次の世代を担う少年・少女に作品の応募を機会に、私たちの生活に欠かすことのできない税について、その仕組みや目的を知り、税に対する理解を深めていただくことを目的に開催しています。

今年は、賀茂地区の小学校から習字の部に535点、ポスターの部に145点の応募がありました。

松崎町では、松崎小学校6年生から習字の部に66点の応募がありました。

審査の結果、各部門の入賞者が次のとおり決定しました。

## 【問合せ】

窓口税務課（42） 3968

## 入賞作品

### 習字

松崎町長賞  
大石 浩之進さん（松小6年）



松崎町教育長賞  
高橋 さおりさん（松小6年）



伊豆下田納税連絡協議会長賞  
石垣 ゆり花さん（松小6年）



# 宝くじ助成事業

## 道部区・松崎5区区長会

### 三番叟備品を購入

宝くじ普及広報事業の一環として、(財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、道部区と松崎5区区長会では、長年の使用により、老朽化した三番叟の備品を新調しました。

今回の備品整備により、伝統行事である三番叟の継続と、各地区でのコミュニティ活動が一層活発に行われるものと期待されます。

## 道部区

道部区では、三番叟に使用する小鼓（3台）・大鼓（1台）・篠笛（2管）・袴（5着）・狩衣（1着）・指貫袴（1着）を新調しました。

11月2日から3日にかけて行われた秋まつりにおいて、多くの区民が見物に訪れる中、新しい衣装による三番叟が披露されるとともに、宝くじ助成事業によって備品を新調したことの報告が行われました。



三番叟披露（道部区）



## 松崎5区区長会

松崎5区（東・西・南・北・中区）区長会では、三番叟に使用する翁装束（1着）・5人囃子装束（5着）・千歳衣装（1着）・三番装束（1着）を購入しました。

地区の若い衆が中心となり組織された三省社では、伝承人の指導の下、演者が1カ月以上の稽古を重ね、11月2日から3日にかけて行われた秋まつりにて、新しい衣装を身にまとい、三番叟を披露しました。



三番叟披露（松崎5区）

## 【問合せ】

企画観光課（42） 3964

# 徳島県上勝町で開催

平成23年10月27日から29日にかけて徳島県上勝町で開催された第17回全国棚田(千枚田)サミットに、松崎町から町長はじめ棚田保全関係者など20人が参加しました。

棚田サミットは、全国棚田(千枚田)連絡協議会が主催し、毎年開催しているものです。全国の棚田を有する市町村、棚田保全に取り組む団体が一堂に会し、棚田保全の意義や必要性を認識し、全国に発信しています。

今回開催地となった上勝町は、徳島県のほぼ中央部にあり、人口約1,900人の四国で一番小さな町です。しかし、町は、「日本で最も美しい村」連合に加盟するほか、おばあちゃんの葉っぱビジネスや「ゼロ・ウェイスト」宣言を通して、ごみゼロを目指すなど、「持続可能な地域社会を町づくりの目標に掲げる全国的にも有名な町です」。

上勝中学校体育館に約500人が出席した開会式では、本年度、連絡協議会会長である齋藤松崎町長と実行委員会会長である笠松上勝町長が挨拶を述べました。

その後、事例発表や徳島県知事の基調講演が行われ、棚田の保全、価値、活用、酒などをテーマにした4つの分科会、全体交流会を通じ、意見交換や交流を深めました。

現地案内では、日本の棚田百選であり、重要な景観地域である「檜原の棚田」やにほんの里百選の「八重地の棚田」、天上の楽園「市宇の棚田」、かおり風景百選の「田野々の棚田」を、グループに分かれて見学しました。

いずれの棚田でも地域の方や中学生が参加者を温かく迎え、地元ならではの料理でもてなししてくれました。

上勝町の棚田も、高齢化や後継者不足の問題を抱えてい

ますが、地域の方々が保全に対する熱い思いを持ち、取り組んでいる様子がかがえましました。

松崎町では、昨年、「棚田が結ぶ、ふるさとの絆」をメインテーマに、町民が一丸となって棚田サミットを開催し、盛会裏に終了することができました。

今後も皆様の力を石部の棚田にお寄せいただき、棚田を後世に引き継ぐとともに、地域の活性化を図ってまいりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。



【問合せ】  
企画観光課 (42) 3964

## 松崎文芸

— 短歌 —

朝夕に覗く鏡の吾が顔の皺

わが今日は気になりてならず

外出など叶はぬものをよそゆきと

言ひてまたしまひおくブラウスを

ほどの良き水量を遠き日のままに

思ひ出させて川流れある

おだやかな気分過ぎし日の夢は

笑ひごゑまで満ち満ちてゐるつ

幼らとトランプ遊びに気負ひても

七十七歳は勝つことのなき

目覚ましは経と木魚の音なりき

故里の寺は思ひ出のなか

身を休めこころも休めよと雨が降る

めぐみの雨に甘えるひと日

坂倉のぶ

中村宣子

山本しづ子

平馬文枝

端山さち枝

平野もみ子

飯野ふさ

### お忘れなく 償却資産の申告

個人や法人で事業を行っている方が、その事業のために用いている構造物、機械、備品などの有形固定資産を償却資産といい、土地や家屋と同じように固定資産税が課税されます。

これら事業用資産をお持ちの方は、資産の多少にかかわらず毎年1月1日現在の所有状況を償却資産の所在する市町村長に申告していただくことになります。

12月中旬に申告書を送付します。必要事項を記入し、提出してください。

※新しく事業を開始した場合など申告書を送付されていない事業主の方は下記までご連絡をお願いします。

【申告期限】 1月31日(火)

【問合せ】 窓口税務課 (42)3968



# ～まちのできごと～

11/2・3  
秋まつり



恒例行事の秋まつりが、11月2日から3日にかけて開催されました。町内の各神社では、三番叟や神楽が奉納され、獅子や太鼓台が地区内を賑やかに練り歩きました。

11月中旬  
冬の風物詩浜囲い設置



雲見、石部、松崎海岸では、伊豆西海岸特有の西風に備えるため、浜囲いの設置作業が行われました。浜囲いは、海岸に風の通り道をふさぐように設置され、砂の飛散を防止します。

11/12～14  
第31回松崎町文化協会芸術祭



環境センターでは、松崎町文化協会が主催する芸術祭が開催されました。138人の方から出品された273点が展示され、多くの方が観賞に訪れました。

11/18  
生涯学習ソフトボール秋季大会



総合グラウンドでは、町内10地区が参加した生涯学習ソフトボール秋季大会の決勝戦が行われました。トーナメント戦を勝ち抜いて、船田地区が5年連続で優勝しました。

## 松崎町が誇れるものを

10月27日(木)から29日(土)にかけて徳島県上勝町で開催された第17回全国棚田(千枚田)サミットに連絡協議会長として出席してきました。

今回の開催地となった上勝町は、過疎化が進む人口約1,900人の四国で一番小さな町です。

しかしながら、この町は、地域の活性化策について、住民一人一人が問題意識を持ち、地域振興のための課題を明らかにし、解決法を見出して彩のあるまちづくりを進めています。

この結果、おばあちゃんの葉っぱビジネスやごみゼロ宣言の町として全国に知られています。

私たちの松崎町も、静岡県で最も人口の少ない、少子高齢化が進む小さな町です。今後、人口減少はさらに加速し、30年後

には、現在の半分までに減少すると試算されています。

このような人口減少に歯止めをかけるためには、就業場の確保や定住支援も大切ではありますが、住む人にとって誇りと愛着の持てる魅力的なまちづくりが最優先だと思っています。

松崎町には、入江長八翁の鍔絵やなまこ壁、変化に富んだ海岸線とそこから望む富士山、石部の棚田など誇れるものがたくさんあります。

これらの魅力を高めるとともに活用し、発信していくことが交流人口を増加させ、さらには定住人口の増加につながっていくのだと思います。

一人一人の町を愛する心や行動で町が変わります。皆様のご協力をお願いします。

松崎町長

齋藤 文彦

## 町長室からこんにちは ②4

### 町の人口と世帯

(平成23年10月31日現在)  
( )内は前月比

総人口	7,846人	(-8人)
男	3,708人	(-2人)
女	4,138人	(-6人)
世帯数	3,116戸	(-3戸)
転入	15人	転出 12人
出生	0人	死亡 11人

### 町の交通事故

平成23年10月発生分  
( )内は前年同月比

人身事故	4件	(+3)
物損事故	13件	(+4)
死者	0人	(-1)
傷者	5人	(±0)

### おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
江奈3	石田金男	96	修
中区	中村千春	65	宰
江奈2	菊池きみ	88	倫 雄
江奈2	石田準次	86	周 市
石部	山本中子	82	哲
伏倉	石田武尚	83	正 志
峰	佐藤保之	88	嘉 和
江奈3	塚本久雄	77	理 恵 子

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

### 戸籍だより



### 保健師だより

#### 子どものおやつ

おやつは、幼児期の子どものために、楽しみであると同時に3度の食事で摂りきれない栄養を補う食事でもあります。子どもにとって「第4の食事」であるおやつ。何をどんなふうにするかがとても大切です。

#### 上手なおやつとの与え方

##### 時間を決める

○時間を決めて規則正しく与えます。

○好き勝手に与えると偏食、むら食い、わがままの助長、肥満、虫歯などの原因になります。

##### 栄養バランスを考える

○3食で不足する栄養素を中心に、バランスを考えて与えます。

○子どもは水分を多く必要とします。牛乳、お茶、野菜ジュースなどの甘い飲み物や水分を多く含むことも必要です。

##### 量を決める

○量を決めて与えるようにします。1日に必要な総エネルギーの10%から20%以内になります。

○3食で十分な栄養量の場合や、運動量が少ないときは、果汁や果物などの水分の多いものだけにします。

## 姉妹都市通信

松本市安曇地区から

### そば打ち講習会が行われました

冬が目前になると、安曇地区にある蕎麦店でも秋に収穫した「新そば」を食べることができません。

安曇公民館では、そばの美味しいこの季節に自分の手でそばを打つ技を学んでいたところ、11月12日(土)に講師を招いてそば打ち講習会を行いました。

講師には、松本市役所の愛好者が集う「蕎麦食人会」の皆様をお願いし、こね鉢など必要な道具一式も講師の皆様が普段から使っているものをお借りしました。

最初に、講習会が終了した後で参加者全員に振舞われるそばを講師の皆様が手際よく打つ様子を見させていただけました。

その後、一人ずつ生地の練り方、生地を延す際の打ち粉のふるい方や量などを教えてもらいながらそば打ちに挑戦しました。

参加者は、自分が打ったそば約500gを自宅に持ち帰って家族に振る舞い、そば打ち講習会の成果を披露されたことと思います。

(安曇支所 奥原一郎)



そば打ち講習会